

**二〇一八年度史学・地理学会大会報告、会員の発表  
論文目録、関西大学史学・地理学会2017年度（平成  
29年度）収支決算報告**

雑誌名	史泉
巻	129
発行年	2019-01-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10112/00020724">http://hdl.handle.net/10112/00020724</a>

二〇一八年度

## 史学・地理学会大会報告

二月一日(土)第一学舎五号館E六〇三教室において、二〇一八年度関西大学史学・地理学会大会が開催されました。大学院生・学部生十名が日頃の研究成果を発表し、活発な議論がなされました。また、E六〇二教室において、ポスター発表を行いました。三組の大学院生・学部生がフィールドワークを通じた研究の成果を発表しました。発表終了後に総会が開かれ、会計報告・編集委員会報告・事業報告が承認されました。その後第一学舎食堂において、懇親会が開かれました。

### 【口頭発表】E六〇三教室

ハトシエプスト研究の現状と展望 —— 王権観念を中心に —— 田村 風沙  
基壇外装からみる山背国と近江国の古代寺院について 北川 咲子  
7世紀アイルランドにおける「アダムナン法」について 佐藤 舞  
京都市における近世から現代への酒造業の立地変動 李 嘉文

【講演】朝鮮半島南部出土の倭系遺物からみた日朝関係 井上 主税 先生  
石上・榎井氏が立てる楯戟 前野 智哉

聖武天皇東国行幸 —— 行幸比較から探るその意図・目的 —— 上村 浩立  
近代日本での鉄道を使った社寺参詣と海水浴 松川昭太郎  
モンテ・ニユの神学思想と「エセー」 乾 友貴

ワイタンギ条約 —— イギリスとマオリの認識の相違点 —— 深石 知航  
日本における企業城下町と鉱工業地域社会の形成と衰退  
—— 中国での適用を見据えて —— 海 思琪

### 【講演】私の研究流儀とフィールドワーク

伊東 理 先生

### 【ポスター発表】E六〇二教室

老松場古墳群調査の概要

渡邊貴亮 王 琳婷 北川咲子 田中詢弥  
山川聡大 池田 旭 白井彪史 奥田真奈  
佐用海輝 中村真里絵

高岡市における歴史的文化的景観と銅器産業の伝統と革新

—— 地理学・地域環境学「高岡市実習調査」中間報告1 ——  
松井幸一 野間晴雄 齋藤鮎子 中井香月  
安田えり 李 嘉文 長沼修平 石渡正敏  
桐山哲久 田中竜人 辻本真由 松尾優介  
松原太陽

新高岡駅周辺の変容および伏木／富山新港、万葉線の現状と課題

—— 地理学・地域環境学「高岡市実習調査」中間報告2 ——  
野間晴雄 松井幸一 齋藤鮎子 海思琪  
桑名友太 松川昭太郎 石田大貴 井野 厚  
大浦拓 北沢友章 黒木玲衣 外木場浩太郎  
辻本 優 丹尾早由里 橋 一輝 花井高志  
藤崎 茜 町田路朗 三好拓也 村上綾太郎  
湯川悠介 藤田泰資

## 会員の発表論文目録

(二〇一八年四月―二〇一八年九月、前号までの欠落分を含む)

### 日本史

家村光博

「行基の比賣嶋堀川と白鷺嶋堀川」、『史泉』第二二八号(関西大学史学・地理学会) 二〇一八年七月

### 東洋史

池尻陽子

「内秘書院モンゴル文檔案にみる17世紀アムド東部のゲルク派諸寺院と清朝」、岩尾一史・池田巧編『チベット・ヒマラヤ文明の歴史の展開』(京都大学人文科学研究所) 二〇一八年三月

一ノ瀬雄一

(書評)「平井健介著 東京大学出版会『砂糖の帝国…日本植民地とアジア市場』」、『中国研究月報』72(8)、二〇一八年八月

新谷英治

「『キタープ・バフリエ』に見える祈りの場」、『関西大学東西学術研究所紀要』51、二一―四六頁、二〇一八年四月

松浦章

「清代華南沿海における柑橘類の生産と流通」、『関西大学文学論集』68

(2)、九一―一頁、二〇一八年九月

『日本統治時代台湾産鮮魚の海外搬出』、『関西大学文学論集』68(1)、三五―五五頁、二〇一八年七月

『1940年代後半における輪船招商局の航運活動』、『関西大学東西学術研究所紀要』51、一三五―一五七頁、二〇一八年四月

#### 森部 豊

(海外調査報告)『唐代幽州盧竜節度使、河東節度使、振武節度使の空間…2017年河北・山西北部調査報告』、『唐代史研究』第二二号、二〇一八年八月、唐代史研究会、二二五―二二〇頁

『蕃将たちの活躍―高仙芝・哥舒翰・安祿山・安思順・李光弼』松原朗編『杜甫と玄宗皇帝の時代』(アジア遊学20)、一三五―一四六頁、二〇一八年六月

『黒竜江省・吉林省における契丹(遼)・金時代の遺跡の現状と調査…遼・金時代史研究の新しい潮流をめぐって』、『関西大学東西学術研究所紀要』51、四〇五―四二三頁、二〇一八年四月

『唐代前半期における鞞摩州・蕃兵・軍制に関する覚書―营州を事例として』、『宮宅潔編』『多民族社会の軍事統治―出土史料が語る中国古代』(京都大学出版会)三二一―三二六頁、二〇一八年三月

#### 西洋史

##### 朝 治 啓 三

『シモン・ド・モンフォール研究の現在―アンジュー帝国の視点から』、『関西大学文学論集』67―4、一三三―一五〇頁

(新刊紹介) G. E. M. Lippitt, Simon V. of Montfort and Baronial Government, 1195-1218, Oxford University Press, 2017. xvii, 238 p. 『西洋中世研究』10、二四五―二四六頁

#### 嶋 中 博 章

『マザラン 国家の財政難を利用して莫大な富を築く』、『堀越孝一編』『悪の世界史 西洋編(下)』(清水書院)、二二六―二四七頁、二〇一八年四月

#### 森 本 慶 太

(書評)『南直人著『食』から読み解くドイツ近代史』、『パブリック・ヒストリー』(大阪大学西洋史学会)第13号、二二七―二二二頁、二〇一六年二月

『1930年代スイスにおける観光業の危機と再編―スイス観光連盟の設立と事業内容を中心に―』、『パブリック・ヒストリー』(大阪大学西洋史学会)第14号、一―一六頁、二〇一七年二月

(新刊紹介)『森田安一著『ハイジ』の生まれた世界―ヨハンナ・シュペーリと近代スイス―』、『史学雑誌』(公益財団法人史学会)第126編第10号、一二頁、二〇一七年一〇月

(研究ノート)『第二次世界大戦期スイスにおける「観光論」の形成―W・レプケとの関係性を手がかりに―』、『ゲシヒテ』(ドイツ現代史研究会)第11号、三二―四〇頁、二〇一八年四月

#### 地理学・地域環境学

##### 堀 内 千 加

『十勝地方の農業地域区分と畑作農業の展開』、『史泉』第一二八号(関西大学史学・地理学会)二〇一八年七月

##### 山 岡 真 一 郎

(書評)『イアン・ゲートリー著 黒川由美訳』『通勤の社会史 毎日5億人が通勤する理由』、『史泉』第一二八号(関西大学史学・地理学会)二〇一八年七月

関西大学史学・地理学会 2017 年度（平成 29 年度）収支決算報告

(2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

	費 目	金 額	前年度比	
収 入	前年度繰越	5,037,682	△412,286	
	会費	323,000	△55,000	
	史・地大会戻入	0	△21,941	
	バックナンバー売上	19,500	1,500	
	抜刷代	0	△7,344	
	郵便代戻入	1,310	620	
	利息	2	△9	
		収 入 合 計 (除く繰越金)	5,381,494 343,812	
支 出	『史泉』印刷費(126・127号)	563,760	△138,024	
	史泉発送費	56,142	△1,710	
	『史泉』封筒代(角3号3,000部)	0	△56,700	
	学会封筒代(長3号)	14,040	14,040	
	振込手数料	864	432	
	大会費補助	8,932	8,932	
	通信費	13,582	4,999	
	謝金	49,700	2,100	
	消耗品費	670	249	
	日歴協会費(3年分)	0	△15,000	
	慶弔費	0	△21,600	
		単年度支出	707,690	△202,282
		次年度への繰越	4,673,804	△292,178
	支出合計	5,381,494		

2017 年度も収支決算は、上記の通り適正に行われたことを認めます。

2018 年 11 月 20 日 監査 文珠省三

2018 年 11 月 20 日 監査 黒田一充